



宮崎県「いのちを大切に」する教育」

自分の大切さとともに 他の人の大切さを認めることができる 幼児児童生徒を育てるために

今回のリーフレットでは、宮崎県教育振興基本計画や生徒指導提要における人権教育の位置付けのほか、県指定の人権教育推進校やピア・サポート推進校の取組を紹介します。

宮崎県教育振興基本計画における人権教育の位置付け

令和5年に策定しました宮崎県教育振興基本計画において、人権教育を以下のように定めております。

基本目標 1 多様性を認め合い、一人一人を大切にする教育の推進

施策 1 いのちと人権を守り、豊かな心を育む教育の推進

1 いのちを大切にしている教育の推進

取組 1-1 宮崎県いのちの教育週間における取組の更なる充実

取組 1-2 SOSの出し方に関する教育の推進

2 人権教育の推進

取組 2-1 幼児児童生徒の人権感覚の育成

取組 2-2 教職員の人権感覚の高揚と指導力の向上

取組 2-3 地域と連携した人権尊重の精神の醸成

【推進指標】

- いのちの尊さや大切さについて考えることのできる学校であると答えた児童生徒の割合
- 先生や友達が自分や友達のよさや違いを認めてくれるなど、人権が尊重されている学校になっていると答えた児童生徒の割合
- 自分にはよいところがあると答えた児童生徒の割合

本計画の実効性を高めるため、施策推進のための「推進指標」を設定しています。毎年12月に実施する「みやざきの教育に関する調査」において、上記の推進指標について子どもたちが回答しています。この推進指標をもとに、県教育委員会では、人権教育の推進に取り組んでいます。

生徒指導提要における人権教育に係る課題の位置付け

生徒指導提要には、人権教育に関する様々な課題（例えば「自殺」や「性に関する課題（性的マイノリティや生命（いのち）の安全教育）」）に対する生徒指導が示されています。これらの課題を重層的支援構造で示すと、例えば以下ようになります。

【「自殺予防」では…】

自殺の行動化を水際で防ぐ組織的な危機介入、自殺発生時（未遂・既遂）の周囲への心のケアの実施 等

【「性に関する課題」では…】

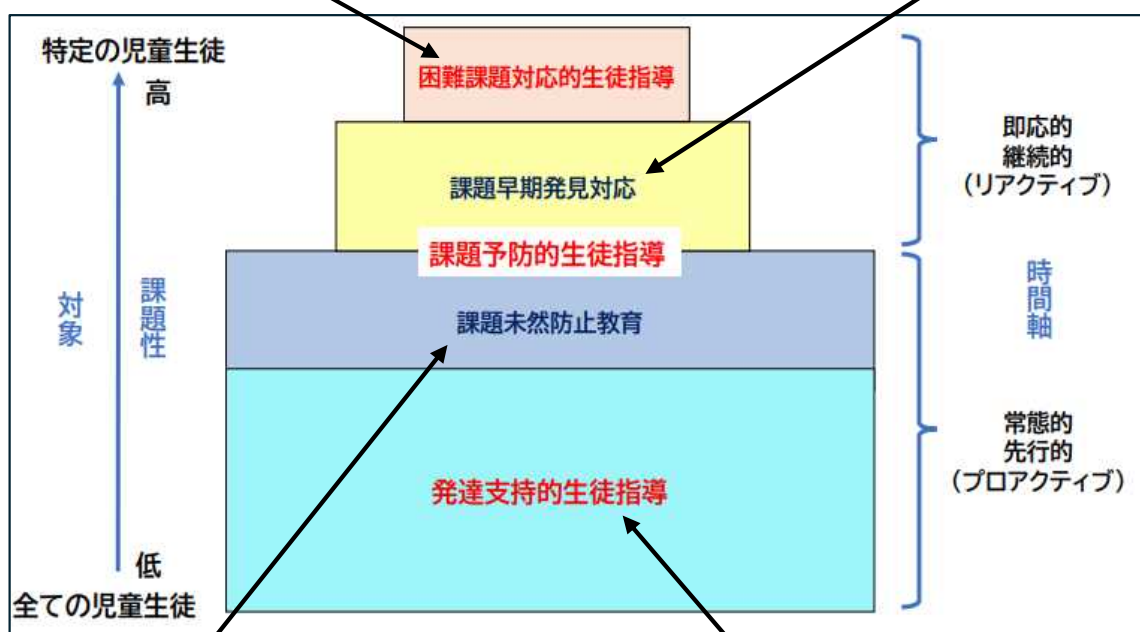
深刻化した性に関する課題に対する学校内外の連携を生かした組織的な指導や援助 等

【「自殺予防」では…】

自殺の危険が高まった児童生徒の早期発見と迅速な対応（アンケート、面談、健康観察等によるスクリーニングと安全確保等）

【「性に関する課題」では…】

性に関する課題の早期発見と迅速な対応（アンケート、面談、健康観察等による気付きと被害児童生徒の安全確保等）



【「自殺予防」では…】

・ SOSの出し方に関する教育を含む自殺予防教育の実施（保健体育の授業や学級・HR活動等における取組）

【「性に関する課題」では…】

・ 各教科や道徳科、学級活動やHR活動等における児童生徒が「性犯罪・性暴力に対して適切な行動がとれる力」を身に付けることができるような「生命（いのち）の安全教育」の実施

【「自殺予防」では…】

・ 児童生徒が「未来を生きぬく力」を身に付けるように働きかける「命の教育」等の実施及び安全・安心な学校環境づくり

【「性に関する課題」では…】

・ 各教科の学習や人権教育等を通じた、児童生徒が「多様性を認め、自他の生命を尊重することができる人」に育つような働きかけ

生徒指導提要（令和4年12月）をもとに作成

このように、生徒指導と人権教育は密接に関係しており、特に、「発達支持的生徒指導」では、全ての児童生徒を対象に、教育課程内外の全ての教育活動において進められる生徒指導の基盤となるものです。日頃から人権教育の充実に取り組んでいきましょう。



令和5年度県指定「人権教育推進校」

以下の学校を「人権教育推進校」として指定し、地域や児童生徒の実態に応じて、人権教育に取り組んでいただきました。

- ・川南町立通山小学校
- ・小林市立野尻小学校
- ・五ヶ瀬町立三ヶ所小学校
- ・綾町立綾中学校
- ・えびの市立加久藤中学校
- ・門川町立門川中学校
- ・日南高等学校
- ・赤江まつばら支援学校

校内の環境整備の工夫



【川南町立通山小学校】
友達に優しくされたり、優しくしたりしたときの気持ちを桜の葉のカードに書き、模造紙に貼付。学校の正面玄関に掲示。生活委員会が全校に提案。

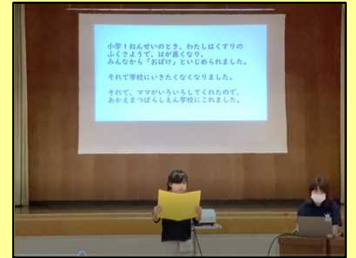


【綾町立綾中学校】
合唱発表会に向けて、合唱実行委員会が1年生へ練習の仕方を助言し、応援する写真を掲示。



【小林市立野尻小学校】
隔週の木曜日に、人権に関する話を職員が輪番で全校児童へ説話を行う取組。(心の教育の充実につなげる活動)

文化祭での取組



【赤江まつばら支援学校】
児童の実体験をもとにして、家族への感謝やいのちの大切さについて発表。

講演会



【赤江まつばら支援学校】
推進校の卒業生が、在校生や保護者を対象に、御自身の体験をもとに、夢や希望をもつことの大切さを講演。



【野尻小学校】
当事者の方が、家庭教育学級において保護者や教職員に向けて、自身の体験をもとに、多様な性について差別をなくすことを示唆する内容の講演。

地域・家庭との連携



【五ヶ瀬町立三ヶ所小学校】
町のオープンスクールにおいて、全校一斉の人権教育を実施。児童、大学生、地域の方、保護者、学校の教職員が、「身の回りの色と言葉」についてグループで話し合い、様々な考え方に触れる機会を設定。

さんりんしゃ

令和5年度が過ぎ、2ヶ月が経ちました。毎日、子ども達は、友達と過ごしています。三ヶ所小学校は、1人1人が優しく、友達思いの子も増えていっていますが、今年度は、人権について、さらに深く考えていこうと思い、「人権だよりさんりんしゃ」を発行することにしました。

この「さんりんしゃ」には、3つの巻頭を、地域・家庭・学校と見立て、一緒に動かし、いざいざとお願いが送られてきます。2つの巻頭が読んでもらえると、3巻頭は助きます。この「さんりんしゃ」をきっかけに、各地域で、ご家庭で、学校で、大人も子どもも一緒に人権について考えていけたらと思います。

さて、早速ですが、人権ってなに？と聞かれたら何と答えますか。

人権とは、人が人として、社会の中で自由に考え、行動し、幸福に暮らせる権利です。すべての人が生まれながらにもっている権利です。

しかし、身の回りには様々な人権問題があります。

例として

- 女性
- 子ど
- 高齢者
- 障がいのある人
- 知的障
- 外国人
- 性的少数者(性的マイノリティ)○ ハンセン病患者・死者等

に対する人権問題があります。

最近では、インターネットによる人権侵害や新型コロナウイルス感染症に対する差別などが問題視されるようになりました。これらの問題を「隠しにしなければ、人権侵害はなくなっていくのでは」と思われるかもしれませんが、正しい知識をもち、人権

【三ヶ所小学校】
人権通信の発行。地域や家庭へ学校の取組等を紹介。

教職員の人権感覚の高揚に向けて



【日南高等学校】
宝塚大学日高教授から教職員に対して、多様な性に係るきめ細かな対応について、専門的知見からの講義。

【門川中学校】
教職員の人権感覚の高揚を目指し、毎月、教職員へアンケートを実施。毎月自己評価することで、意識付けを図る。

項目	自己評価
1 授業中、生徒を呼び捨てではなく、「○○さん、○○くん」と指名して呼んでいますか？	
2 答案(定期テストや小テスト)を返却するときに、他の生徒に点数が分からないように配慮していますか？	
3 職員間で会話をする時にも、生徒を呼び捨てではなく「○○さん、○○くん」と呼称をつけていますか？	
4 生徒に対して「こんな問題もできないのか。」「なぜ分らないんだ」などの発言はしていませんか？	
5 生徒の日々の活動に対して、「ありがとう」等の感謝の言葉をのべていますか？	
6 同僚の先生の言葉遣いが適切ではないときに、助言・アドバイスできていますか？	
7 生徒を他人(同級生や兄弟)と比較するような発言をしていませんか？(例:お兄ちゃんは頭良かったのに...)	
8 忘れ物をした生徒や授業に遅れた生徒等に対して、理由を聞かずに頭ごなしに指導をしていませんか？	
9 成績の良さで生徒の人格や行動を判断している場面はありませんか？	
10 正しい言葉遣いや行動を心がけて、自ら人権意識を高めようと思っていますか？	

系統的・計画的な指導内容

【日南高等学校】
3年間を見通した人権教育(各学期1回ずつ統一LHR)の実施。

- 1年生のテーマ
「差別の構造～差別の心・人権と差別・身近な差別～」
- 2年生のテーマ
「部落差別の歴史～江戸時代から水平社宣言まで～」
- 3年生のテーマ
「3年間の人権・同和教育のまとめ～就職・結婚差別」

【加久藤中学校】
各学年の実態に応じた人権に関わるテーマを設定。

- 1年生のテーマ: 「いじめ問題を考えよう」
- 2年生のテーマ: 「アサーティブな自己表現をしよう」
- 3年生のテーマ: 「高齢者と共に生きる」

県指定「ピア・サポート推進校」

以下の学校を「ピア・サポート推進校」として指定し、地域や児童生徒の実態に応じて、ピア・サポート活動に取り組んでいただきました。

【令和3年度～令和5年度】

- 宮崎市立住吉中学校
- 日南市立桜ヶ丘小学校
- 西都市立妻中学校
- 西都市立穂北中学校
- 都城市立西中学校
- 小林市立西小林小学校
- 延岡市立恒富中学校

【令和4年度～令和6年度】

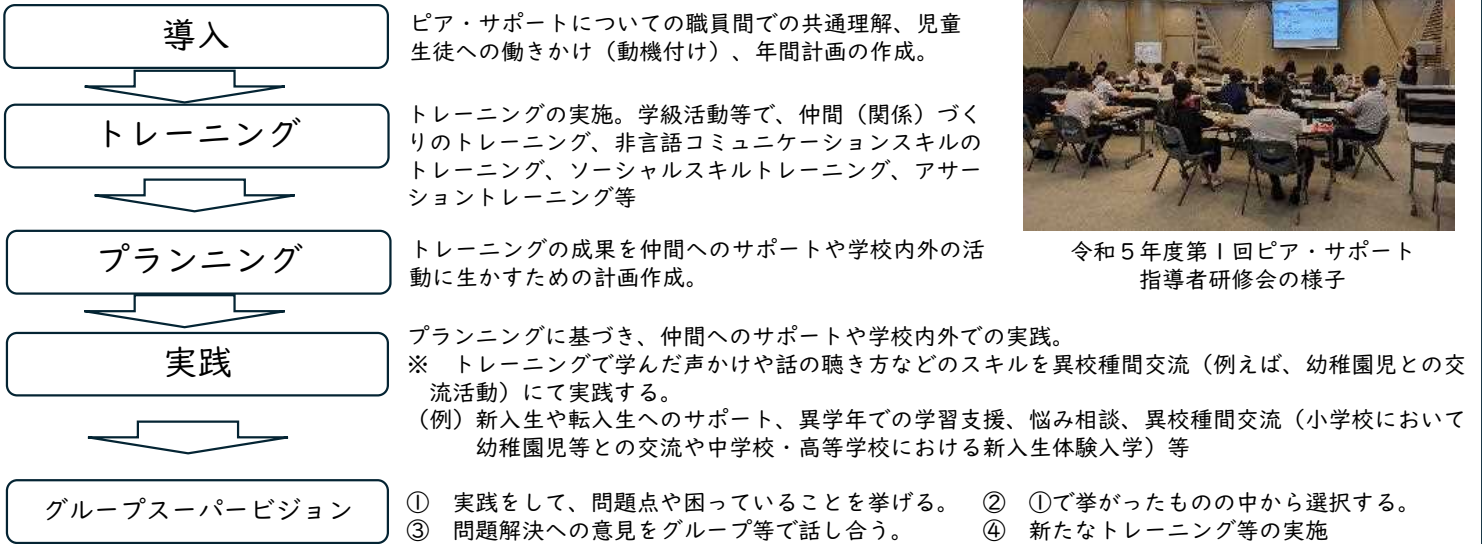
- 宮崎市立瓜生野小学校
- 川南町立東小学校
- 三股町立三股小学校
- 高原町立後川内小学校
- 延岡市立北浦小学校
- 高千穂町立高千穂中学校
- 宮崎東高等学校定時制

ピア・サポートとは

「令和5年度ピア・サポート指導者研修会」研修資料を参考に作成

子どもたちの対人関係能力や自己表現能力等、社会に生きる力が極めて不足している現状を改善するための学校教育活動の一環として、教師等の指導・援助のもとに、子どもたち相互の人間関係を豊かにするための学習の場を各学校の実態に応じて設定し、そこで得た知識やスキル（技術）を下に、仲間を思いやり、支える実践活動をピア・サポート活動と呼びます。

ピア・サポートプログラムの構造



令和5年度第1回ピア・サポート指導者研修会の様子

「自己と他者が支え合い、成長する活動」 ～都城市立西中学校～



取組内容

「人は実際に人を支援する中で成長する」という理念の下、SCの研修を受けた生徒会役員が悩み相談「しゃべりば」を行っています。また、体育大会等の行事ごとに全校生徒でメッセージを交換しています（異学年交流）。誰もが他者をサポートし、サポートされる存在である仲間づくりを進め、行事とピア・サポートを連結（連動）させることで支え合いの相乗効果が現れてきています。

仲間意識を醸成し支えあう活動 ～宮崎市立瓜生野小学校～



取組内容

学校に集う仲間としての自覚と、発達段階に応じた学年ごとの役割を意識させながら、よりよい仲間づくりを目指しています。今年度は、ピア・サポート集会で呼び掛けてキャラクターを作成したり、異学年が一緒に遊ぶ「スマイルの日」を設けたりして、支え合い、助け合う活動に取り組んでいます。